

地域との連携と集団づくりを推進する小中連携

ねがい

〈目的〉

夢を持ち、自他のいのちに感謝して、共に生きようとする心を持つ児童・生徒を育成するために、学校間・家庭・地域との連携を大切にしながら、集団づくりと体験的な活動を行います。

〈内容〉

つながり

● 地域そろってのあいさつ運動

中学校では「代表委員」が、小学校では「なかよし委員会」「あいさつキッズ」などそれぞれの学校において、玄関や校門などで登校する児童・生徒に、また、地域の人にあいさつを交わしながら、気持ちのいい1日のスタートができるよう実践しています。この活動により、あいさつをする側も、される側もお互いが自然と声のでてくるようになりつつ育っています。



【あいさつ運動の様子】

● 地域との連携を図った児童・生徒会活動

富田幼稚園との交流、地域の清掃活動、介護老人保健施設(さざんか荘)での清掃活動、みろく祭りへの参加、アルミ缶回収活動など、様々な地域の活動に積極的な参加を促し、「地域と共に学校はある」という意義を学ばせています。



【さざんか荘での清掃活動の様子】

● 集団づくりを推進する学級活動

小学校では、全校生を縦割り班にし、集会活動を実施し、上級生がリーダーとなって計画・運営を行っています。生活・学習ふりかえり表を活用して生活習慣を確立させています。

中学校では、集団生活の基礎を身に付け、自己の役割を自覚し、リーダーとしての資質を高め、集団活動に積極的に参加する態度の育成を図っています。

● 職員交流と児童・生徒理解

- ① 異校種間交流・学校訪問等による職員交流
- ② スクールカウンセラーによる児童・生徒理解
- ③ アンケート調査の実施・分析

高まり

〈成果〉

本年度は、大川第一中学校の閉校・統合の準備もあり、学校間の連携があまりできませんでした。各学校で目的を意識した活動や取り組みを行うことができました。次年度は、さぬき南中学校区の小学校は4校となり、生徒数も増加します。学校間や地域との連携を密に取りながら、共生の心を育てられる体験的な活動を行っていきけるよう工夫していきたいです。